

## スマトラでの日食

鈴木 治夫

81年のシベリア日食の時に私と同室していただいた、シンガポール在住の鈴木さんから、お手紙をいただきましたので、日食に際してのスマトラのようすなど御紹介します。(大越)

(前略)さて、パレンバンの日食へ地の利を利用して妻と二人で行って参りました。(中略)

大越さんの書かれた皆既日食の詳細予報(1) p12~15他を大阪電気科学館天文室の菊岡秀多先生より送って戴き拝読致しました。予想どおり当日の天気はもう一つ、シベリアの時より、もう少し雲がこいなかで皆既がおこりました。これで私はシベリア、ジャワ、スマトラと三回行ったこととなります。これは第一回目に参加された方々の日食愛好精神? にすっかり感化されたことは疑う余地はありません。

同封の日食報告以外のこととして先ず、スマトラの人はジャワと同じインドネシア人なのに日食を怖れない? KENTENという市北部のゴルフ場で阪急交通社・天文ガイド共催のツアーの人達と一緒に観測? をしましたが、警備のおまわりさんはじめゴルフ場勤務の人(早朝なのにたくさん働いていた)も外へ出てきてフェアウェイに散っている観測者に交じて黒フィルムなどで、そして皆既の時も「わあー」とか何とかインドネシア語でわめいていました。日食を怖れるのは、ジャワ人の迷信だとあっさりしたものでした。

ジャワの時は大売り出しのBINTANG ビール日食版? こちらスマトラではなく、あの太陽を呑込む神様にお目にかかれませんでした。

同封の新聞は当日18日の夕刊(BOLA)に出ていたのですが、これも記事でなく、BINTANG ビールの広告、そして翌19日は仏教徒の日とか何とかいって全新聞休刊、20日は早朝ホテルを出たので、しかも日曜で英新聞は休みとか。従って、ジャワのときの様に地元紙からの情報ゼロとなりました。市内のレストランやホテルの人達も日食を外に出て行ってみたらしく、いろいろ身ぶり手まね入りで、MATAHARI GERHANA(日食) BAGUS(good) などと言っていました。(ホテル以外で英語を話す人、極めて少ない)

日食時360°ぐるっと見まわして、先ずジャワ、シベリアと比べものにならないくらい暗くなったこと、それでも東の太陽のある側はいちばん明るく、西は大変暗かったことを見ました。高度20度の日食のせい何か、コロナの色が青みがかっていたように感じました。きっとプロミネンスが巨大で美しかったための目の錯覚かもしれません。(後略)

鈴木さんからは、ダイヤモンドリングを含めた4枚の写真と、撮影されたときの様子、ピンタンビールの広告、スマトラの文化面での御感想などをお送りいただきましたが、紙面の都合で割愛させていただきました。